

令和3年度教育課程研究集会
中学校 外国語

外国語の指導における ICTを活用した学習活動の 充実について

令和3年8月

奈良県教育委員会事務局学校教育課 義務教育係

指導主事 松本 彩恵

1. 中学校学習指導要領（平成29年告示）におけるICTとの関連

• 第2章 第9節 外国語 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(以下省略)

• 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い (1) ア

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、具体的な課題等を設定し、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

• 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い (2) キ

生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにすること。

2. 外国語指導においてICTを活用する際のポイント

【言語活動・練習】 で活用

生徒の言語活動の更なる充実と指導・評価の効率化を図ることがねらい

- ・言語活動（特に「話す」、「書く」機会）の充実とパフォーマンステスト等評価への活用
- ・言語活動で活用するための、音声・語彙・文法などの定着（繰り返し練習）
- ・一人一人の能力や特性に応じた学びの機会の確保

【交流・遠隔授業】 で活用

遠隔地・海外とのコミュニケーションと災害など非常時への対応がねらい

- ・遠隔地や海外等の児童生徒、英語話者との「本物のコミュニケーション」
- ・新型コロナウイルス対応や大規模災害等に伴う休業期間における学びの保障
- ・小規模校における対話的な学びが可能

【コンテンツ・授業運営】 として活用

興味・関心、学習の質を高めることがねらい

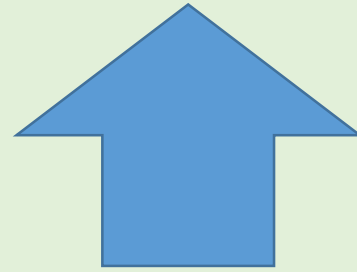
- ・コミュニケーションのモデル提示、「聞く」、「読む」ための素材の提供
- ・板書や説明時間の短縮等により、言語活動中心の授業展開が可能
- ・写真やイラスト等により、日本語を介さずに英語のまま理解することを支援

3. 最後に

【言語活動・練習】
で活用

【交流・遠隔授業】
で活用

【コンテンツ・授業運営】
として活用



大切にしたいこと

- 単元（または複数の単元）の指導と評価の計画
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況のある言語活動を設定し、「言語活動を通して」指導する
- 「失敗から学ぶ」 まずはやってみる